

精華町立 精華台小学校



所在地 京都府相楽郡精華町精華台一丁目2番地1
電話 0774-98-0310 郵便番号 619-0238
FAX 0774-98-0312
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seikadai-es/>

精華台小学校 校歌

作詞 駒 好修

作曲 森永 朋子

い ず み の な が れ の ぞ む お か
き の か す が し き ま な び や で
と も と つ ど い て は げ み あ い
こ こ ろ と か ら 一 だ き た え よ う み が
く み ん な の せ い か だ い し ょ う が つ こ う

精華台小学校校歌

作詞 駒 好修
作曲 森永 朋子

一 泉のながれ 望む丘

木の香すがしき 学び舎で
友と集いて はげみあい
心とからだ きたえよう
みがく みんなの 精華台小学校

二 歴史のほころ ふるさとに

愛と自然を はぐくみて
仲よくとともに 歩みゆく
豊かな心 あたためて
のびる みんなの 精華台小学校

三 未来にむかう 精華台

科学の進む けいはんな
世界の友と 語りつつ
世紀の文化 創る日々
ひらく みんなの 精華台小学校

1. 学校の沿革

- 平 13. 4. 1 精華町立精華台小学校創立
4. 5 精華町立精華台小学校竣工式
4. 6 精華町立精華台小学校開校式
9. 11 精華町立精華台小学校PTA発足
14. 2. 22 精華町立精華台小学校『校歌』発表会
5. 27 平成14・15・16年度 社会福祉協力校の指定を受ける。
15. 4. 1 児童増に伴う校舎増築工事着工
4. 1 障害児学級「わかば学級」開設
8. 29 南校舎竣工（2階建8教室）
11. 27 平成13・14・15年度文部科学省指定（京都府南部地域）次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業研究発表
16. 4. 9 財団法人京都府交通安全協会より交通安全の取組に対して表彰状を受ける。
4. 30 京都府公立学校教職員評価制度指定校を受ける。
6. 9 京都府と友好提携のオクラホマ州の青年を受け入れ国際交流を行う。
6. 14 平成16・17・18年度「子どもの体力向上実践事業」文部科学省指定（精華台小学校地区）を受ける。
8. 1 乳児院・児童養護施設「京都大和の家」が開所される。（南稲地区）
9. 1 児童増加に伴い第4学年を学級再編成し、1学級の増加となる。
17. 3. 1 「人権の花」の取組により、京都府地方法務局 京都府人権擁護委員連合会より感謝状を受ける。
17.6～18.3 文部科学省指定「子どもの体力向上実践事業」実践校
17. 11. 8 米国オクラホマ州ノーマン市 ハラルド・ハラルソン市長が学校訪問
20. 4. 平成20年度「学校評価の充実・改善のための実践研究」事業実践校
11. 特別支援学級「わかば学級」増設に伴う校舎増築工事着工
21. 2. 新館竣工（特別支援学級2教室）
27. 9. 創立15周年事業 航空写真撮影
29. 9. 1 相楽地方通級指導教室「精華台教室」開設
31. 4. 1 府小研図画工作科の研究協力校として指定（3年間）
「つくりだす喜びを感じ、自らの思いを表現できる児童の育成
～ 進んで学び、高め合う図画工作科の授業 ～」
令 3. 1. 29 府小研図画工作科2年次研究発表会
3. 11. 19 府小研図画工作科3年次研究発表会

2. 学校教育方針

1. 経営方針

児童一人一人の目線に立って、確かな学力、豊かな人間性、たくましく健やかな身体をはぐくみ、「社会の変化に対応する生きる力」の育成をめざした教育を進める。そのために、児童・教職員の「まわりとのつながりを感じ、明日も元気に学校へ行きたい。」という『意欲につながる元気な学校づくり』を基本として、公教育に課せられた使命と責任を自覚し、常に自己を高め、きめ細かな指導に努める。

そして、保護者・地域と連携・協働した『信頼される学校づくり』を進める。

2. 教育目標

「夢をもち、他者とのつながりを大切に 主体的に学びに向かう 子どもの育成」

一人一人の子どもたちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう児童の育成に努める。

- (1) 個に応じた指導を進め、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ（習得型の学力）、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむとともに（活用型の学力）、主体的に学習に取り組む態度を養う。（探究型の学力）
- (2) 人権尊重を基盤として、「規範意識や人を思いやる心」、「正義感や公正さを重んじる心」や「多くの人と交わる力」など、豊かな人間性の育成に努める。
- (3) 生命の大切さを基本として、「健康・安全意識の高揚」を図り、「健康・安全生活の実践」ができる力の育成に努め、健康や体力の向上を図る。

3. めざす児童像

- (1) 進んで学ぶ子
- (2) 心豊かで思いやりのある子
- (3) 元気でたくましい子

4. めざす学校像

- (1) 児童がたがいの良さを認め 学び合える仲間がいる学校
- (2) 教職員が協力し信頼と誇りをもって仕事ができる学校
- (3) 保護者の信頼を高め 地域とともにある学校

5. 重点目標

児童も教職員もしなやかな心でたくましく学び合いのある学校づくりをめざし、より豊かにことばをつなげることで、あたたかさのある教育活動に努める。

6. 指導の重点

(1) 確かな学力の育成

- ① 指導目標を明確にした質の高い学力の育成と個性を伸ばす教育の充実
 - ア 「ことばの力」をはぐくむための各教科等における言語活動の充実
 - イ 児童の実態や個に応じた指導の充実
 - ウ 学習の意義や有用性を実感させる場の充実と学習意欲の喚起
- ② 教職員個々の創造性を発揮するとともに、相互のよさに学び合う開かれた学年・学級経営の推進
 - ア 個々の児童の確かな理解と個性の伸長にもとづく居場所づくりの推進
 - イ 互いに学び合う・高め合う人間関係の育成
- ③ 発達障害を含む障害のある児童一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育の推進
 - ア 校内委員会の機能的な活用に基づく、児童支援の校内体制の充実
 - イ 個々の児童に対する個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善
 - ウ 外部機関とのつながりを大切にした児童理解と支援

(2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科・道徳」を推進する校内体制の整備と全教職員の共同による道徳教育の推進
 - ア 「規律を重んじる心」や「多くの人と交わる力」の内容項目を重点とする年間指導計画の改善と別葉の作成
 - イ 「京の子ども、明日へのとびら」をはじめとした効果的な資料の年間指導計画への位置づけと、心に響く道徳の時間の指導の充実
- ② 生命の尊厳と人権を尊重する態度や実践力を育てる教育の充実
 - ア 互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる人権教育の推進。（情報社会の進展をはじめとした時代の変化に伴う新たな人権課題に対応した取組を進める）
 - イ 身近な生活の中での不合理や矛盾に自ら気づき、主体的に考え、解決しようとする態度の育成
- ③ 一人一人の子どもの健全な成長を促し、子どもが自ら現在及び未来における自己実現を図っていけるような、個々の子どもの問題に対応できる総合的な取組の推進（生

徒指導)

ア 生徒指導の三機能（自己決定・共感的理解・成就感）を生かした教育活動の推進

イ 不登校、いじめの問題などの未然防止・早期発見・早期対応のできる校内生徒指導体制の確立と教育相談機能の充実

④ 望ましい集団活動を通して、存在感・充実感のある学校生活を送らせるための特別活動の充実

(3) 健やかな体の育成

① 健康な心身をはぐくむ基本的な知識や、望ましい生活習慣・食習慣を身に付けさせるなど、健やかな身体の育成を図る取組の充実

ア 運動することの楽しさや喜びを味わう体育・スポーツ活動の充実

イ 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する保健教育・保健管理の充実

ウ 身の回りの危険に気付き正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する安全教育・安全管理の充実

エ 望ましい食習慣を身につけた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する食育の充実

オ 不登校児童に対するＳＣ、ＳＳＷとの連携による計画的な支援

(4) グローバルに活躍する人材の育成

① 広い視野と豊かな人権感覚を持ち、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育の推進

ア 国際社会に生きる日本人の育成という観点から、各教科等の指導内容との関連を生かしながら、体験的な学習や課題学習の充実（１年生～２年生）

イ 外国語活動や外国語の学習を通じたコミュニケーション能力と言語能力の育成と充実（３年生～６年生）

② 情報を主体的に取捨選択し活用する力をはぐくむとともに、今までの教育の上にICTの利活用（ツールとして使うこと）の教育推進

ア 児童の発達段階や各教科等の学習内容と関連づけながら、身近な道具として適切に使いこなせる能力と態度の育成

イ プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーの育成

(5) 教職員の資質能力の向上

① 教職員の使命と責任

教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな識見と専門性に基づく自己の資質能力の

向上に努める。

- ア 自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な研究実践の追究
- イ 教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上
- ウ 「正確性・迅速性・透明性」の原則に基づく丁寧な児童・保護者対応の実施（説明責任と同意）
- エ 組織的な文書管理体制の確立とコンプライアンス（遵法）意識による職務遂行

② 教職員研修

社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられるように努める

- ア 研究授業を要とした重点研究の活性化と指導力の向上
 - イ 組織的な初任者研修体制の確立と適正な年間研修計画の作成
 - ウ 次期学習指導要領への移行期間中における適切な対応
- ## ③ 学校評価を学校経営の中心に据えた「開かれた学校づくり」の推進
- ア 全校務分掌方針に学校評価を位置づけ、計画的・組織的な教育活動の実施と評価システムの確立
 - イ 年間3回の学校運営協議会、授業参観の開催

7. 研究主題

「伝え合う喜びを感じ、自らの考えを表現できる児童の育成」

～ 進んで学び、高め合う授業づくり ～

3. 児 童 数（5月1日現在）

(1) 学年別・学級別児童数

| 学 年 | 特別支援学級 わかば | | 1年 | | | 2年 | | 3年 | | | 4年 | | | 5年 | | | | 6年 | | | | 合計 |
|-----|---------------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|
| | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| 男 子 | 3 | 5 | 12 | 14 | 13 | 18 | 17 | 14 | 15 | 14 | 10 | 10 | 11 | 10 | 11 | 10 | 11 | 14 | 15 | 15 | 15 | 249 |
| 女 子 | 2 | 0 | 11 | 10 | 11 | 16 | 16 | 17 | 16 | 16 | 14 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 | 14 | 12 | 11 | 11 | 11 | 259 |
| 小 計 | 5 | 5 | 23 | 24 | 24 | 34 | 33 | 31 | 30 | 30 | 24 | 25 | 26 | 25 | 25 | 24 | 25 | 26 | 26 | 26 | 26 | 508 |
| 合計 | 10 | | 71 | | | 67 | | 92 | | | 75 | | | 99 | | | | 104 | | | | 518 |
| 家庭数 | 8 | | 36 | | | 32 | | 52 | | | 60 | | | 97 | | | | 104 | | | | 389 |

(2) 地域別児童数

| 地 域 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|-------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 南 稻 八 妻 | 7 | 4 | 5 | 5 | 11 | 8 | 40 |
| 精 華 台 一 丁 目 | 3 | 5 | 10 | 6 | 9 | 10 | 43 |
| 精 華 台 二 丁 目 | 4 | 4 | 7 | 2 | 10 | 8 | 35 |
| 精 華 台 三 丁 目 | 10 | 5 | 8 | 8 | 9 | 6 | 46 |
| 精 華 台 四 丁 目 | 9 | 15 | 11 | 11 | 11 | 17 | 74 |
| 精 華 台 五 丁 目 | 41 | 36 | 51 | 46 | 50 | 56 | 280 |
| 合 計 | 74 | 69 | 92 | 78 | 100 | 105 | 518 |

4. 教職員一覧表（5月1日現在）

| 職名 | 氏名 | 担任 | 校務分掌 |
|--------------|--------|-------|---------------------|
| 校長 | 鶴澤 和幸 | | 学校管理運営 |
| 教頭 | 田村 琴恵 | | 学校管理運営 |
| 教諭 | 小柴 文乃 | 教務 | 教務主任、保健主事、福祉教育 |
| 教諭 | 今岡 晃大 | わかば1組 | 特別支援教育コーディネーター、特別活動 |
| 教諭 | 森居 奈弓 | わかば2組 | 特別支援教育コーディネーター、図画工作 |
| 教諭 | 大垣 晶子 | 1年1組 | 国語科 |
| 講師 | 吉岡 華奈江 | 1年2組 | 食育、生活科 |
| 教諭 | 長谷川 祐亮 | 1年3組 | 体育科、人権教育 |
| 教諭 | 坂本 智恵 | 2年1組 | 教育相談、国際理解教育 |
| 講師 | 長尾 佳紀 | 2年2組 | 特別活動、生活科 |
| 教諭 | 齋藤 誠範 | 3年1組 | 研究主任、理科 |
| 講師 | 岡部 智樹 | 3年2組 | 社会科 |
| 教諭 | 太田 徹 | 3年3組 | 人権教育、情報教育 |
| 教諭 | 吉岡 誠嗣 | 4年1組 | 算数、情報教育 |
| 講師 | 横内 拓海 | 4年2組 | 理科 |
| 教諭 | 朝野 瞳 | 4年3組 | 社会、教育相談 |
| 教諭 | 岩室 和貴 | 5年1組 | キャリア教育、外国語活動 |
| 講師 | 西尾 有寿加 | 5年2組 | 家庭科、特別活動 |
| 教諭 | 北村 美都子 | 5年3組 | 音楽科、道徳教育 |
| 教諭 | 宇田 亮太 | 5年4組 | 安全教育、図画工作科 |
| 教諭 | 大久保 晃 | 6年1組 | 安全教育、理科 |
| 教諭 | 伊家 遥平 | 6年2組 | 生徒指導 |
| 教諭 | 東郷 早希 | 6年3組 | 図書館教育、環境教育 |
| 教諭 | 中田 勇輔 | 6年4組 | 特別支援教育、福祉教育 |
| 教諭 | 河霜 知佳 | 通級教室 | 特別支援教育、図書館教育 |
| 講師 | 綿谷 拓己 | 理科専科 | 理科 |
| 講師 | 吉永 誉 | | 教育相談、図画工作科 |
| 教諭 | 平島 恵美 | | |
| 教諭 | 藤崎 裕美子 | | |
| 教諭 | 吉元 由佳 | | |
| 教諭 | 柳田 優美 | | |
| 教諭 | 山本 芙美 | | |
| 2年指導補助 | 牧野 久美 | | |
| 2年指導補助 | 館田 千明 | | 心の居場所サポーター |
| まなび・生活アドバイザー | 森本 洋介 | | |
| 町介助員 | 小野 晶子 | | 特別支援教育 |
| 教員業務支援員 | 小野 政恵 | | 特別支援教育 |
| 養護教諭 | 井田 梨佳 | | 健康教育、教育相談 |
| 養護（育短補充講師） | 岩井 祐子 | | 健康教育、教育相談 |
| 事務職員 | 浜野 麻未 | | 学校事務 |
| 町特別支援員 | 菅野 陽子 | | 特別支援教育指導員 |
| 給食調理員 | 穴戸 武志 | | 給食調理 |
| 給食調理員 | 岡本 淳子 | | 給食調理 |
| 学校図書館司書 | 塗野 友美 | | 学校図書館運営 |
| スクールカウンセラー | 佐々木 幸子 | | |
| 学校医 | 岸田 秀樹 | | |
| 学校歯科医 | 辰己 卓司 | | |
| 学校薬剤師 | 松本 修一 | | |

5. 学校行事計画

| | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 |
|----------------|--|---|--|
| 儀 式 | 始業式 入学式 終業式 | 始業式 終業式 | 始業式 卒業証書授与式 修了式 |
| 文 化 | | 相楽地方美術展 | 相楽美術展鑑賞会 |
| 健康安全 体 育 | 身体測定 視力検査 聴力検査 検尿 専門医検診 (内科・眼科・耳鼻科) 心臓検診 避難訓練 (地震・風水害) 体力テスト 陸上交歓記録会 | 身体測定 視力検査 聴力検査 検尿 歯科検診 避難訓練 (火事) 運動会 | 身体測定 避難訓練 マラソン前検診 マラソン記録会 |
| 遠足 集団宿泊 | 修学旅行 (6年) 林間学習 (5年) | 社会見学 | |
| 勤 労 生 産 奉 仕 | 大掃除 入学式準備 | 大掃除 運動会準備 | 大掃除 新1年生入学説明会 卒業証書授与式準備 |

6. P T A

(1) 本年度活動方針

- ① 会員相互の連帯感と親睦を深め、P T A活動への参加を促す。
- ② 会員の教養を高める取組を推進する。
- ③ 専門委員会活動を推進する。

7. 学校運営協議会委員

| 氏 名 |
|-----------|
| 宮 本 治 郎 |
| 尾 崎 万 佐 子 |
| 藪 木 聡 |
| 綿 崎 俊 行 |

8. 学校施設

| | |
|------|------------------------|
| 校地面積 | 43,543 m ² |
| 校舎面積 | 7,987.8 m ² |
| 体育館 | 1,296 m ² |
| 運動場 | 5,577 m ² |
| プール | 25m×6 コース |

